令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	福祉会館管理運営事業				コード	01020200-0101	
中事業名	児童館運営事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	福祉会館			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	02	子育て・子育ち支援		款	03	民生費	
主要施策	02	安心して地域で子育てができる環境づくり		項	01	社会福祉費	
				目	04	福祉施設運営費	
				大	01	福祉会館管理運営事業	
				中	01	児童館運営事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	児童館は、開館日の午前9時から午後5時まで、一般開放及び団体貸出しを行っており、主催事業として、「親子ふれあい教室」は、1歳以上の未就園児とその保護者を対象に、年15回、1クラス25名で、各福祉会館4クラスで実施している。また、「児童館行事」は、小学生を対象に、工作やクッキングを毎月1回に加え、子どもまつりやもちつき会など季節の行事も実施している。
対象	市が行う業務
意図（目的）	福祉会館条例第4条の規定により、「児童の健全な遊びを通しての集団指導及び個別指導」並びに「児童の健康の増進及び健全育成に必要な活動及び援助」を行い、児童の居場所づくりと子育て支援の場づくりとしての機能を発揮する。
手段	就園前の乳幼児とその保護者を対象とした「親子ふれあい教室」の実施、小学生を対象とした「児童館行事（工作やクッキングなど）」の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			24,479	22,057	29,937	27,969	31,738	30,648	31,475
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	80	96	80	10	80	17	80
	一般財源		24,399	21,961	29,857	27,959	31,658	30,631	31,395

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	老人福祉センターやコミュニティーセンターの機能を併せ持つ福祉会館の特性を活かし、「伝承遊び」を通じた、子どもから高齢者までの会館利用者の世代間交流の機会を作る。 地域全体で子どもたちの成長を見守るという意識の向上を図る。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	伝承遊びを取り入れたプログラムを考える。また、担い手の確保を会館利用者を中心に呼びかける。また、伝承遊びを通じて多世代交流の場を広げることや子どもの遊びを多様化することにより、子どもの成長過程での伝承遊びの大切さを啓発する。

令和 3年度に取り組んだこと	コロナ禍において直接ふれあうような遊びを行うことが困難なこともあり、多世代交流を図るため、地域交流事業を実施した。参加者は、子どもから大人まで（０歳代から９０歳代まで）の多世代となり、地域や世代交流の一助となった。

成果	地域交流事業を実施することで、子どもから大人まで同じイベントに参加することができ、地域交流の場として位置づけることができた。
課題	コロナ禍においては、大人から子どもまで直接ふれあうような遊びが実施できないため、可能な限り多世代交流のプログラムを考えながら、コロナ禍後の事業のあり方を精査する。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	地域交流事業の開催により、コロナ禍でも対応できるような多世代交流が達成されたため。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	コロナ禍後については、当初の目的であった伝承遊びについて可能な限りとり入れることで子どもから高齢者までの会館利用者の世代間交流の機会をつくるようなプログラムを考える。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	伝承遊びを含む多世代交流のきっかけ作りのために、事業を単発の行事だけでなく継続した事業に繋げるような事業計画を進める。				

【アウトプット指標】

指標名	延べ参加者数（親子ふれあい遊び1年間の延べ参加者数）					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	16,500.00	10,043.00	7,400.00	1,233.00	6,300.00	2,213.00	6,300.00

【アウトカム指標】

指標名	１回当たりの参加率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	60.86	100.00	16.66	100.00	35.12	100.00
式	親子ふれあい遊び１年間の延べ参加者数／親子ふれあい遊び延べ定員数×100						
指標の狙い	親子ふれあい遊びを通して、こどもを持つ親同士が交流することにより、親子で一緒にふれ合う中で子育ての楽しさや子どもの成長を喜び、親の育児不安を取り除く。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	福祉会館管理運営事業				コード	01030200-0102	
中事業名	老人福祉センター運営事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部			担当課等	福祉会館		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計
	基本施策	03	高齢者福祉・介護保険		款	03	民生費
	主要施策	02	健康づくり・介護予防の充実		項	01	社会福祉費
					目	04	福祉施設運営費
					大	01	福祉会館管理運営事業
					中	02	老人福祉センター運営事業
根拠法令・条例等	老人福祉法						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	「おたっしゃハウス」は、概ね65歳以上の高齢者が、体操やカラオケなど、自由に過ごす場として、各福祉会館で週1回行っている。また、「コミュニティサロン」は、老人福祉法に基づき、1人暮らしや自宅に閉じこもりがちで外出する機会の少なく、要支援及び要介護状態になるおそれのある方を対象に、送迎を行いながら、各福祉会館で週に1回体操やレクリエーション、会食を通じて、健康でいきいきとした生活を送っていただくよう実施する。
対象	市が行う業務
意図（目的）	高齢者の健康維持や介護予防を目的とし、個人及び団体での会館利用を進める。
手段	「おたっしゃハウス」（各館週1回）、「コミュニティサロン」（各館週1回）の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			6,480	5,428	10,494	5,874	8,882	7,367	9,073
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	1	0	1	0	216
	一般財源		6,479	5,428	10,493	5,874	8,881	7,367	8,857

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの事業開催となるため、短時間でも魅力的な事業内容の検討及び中止時における電話連絡による健康観察を行うことにより出来る限りフレイル予防に努める。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	参加者の高齢化や新型コロナウイルスの影響もあり参加者が減少傾向にあるが、コミュニティサロン、おたっしゃハウスともに運営方法の検討を行い、魅力的な事業内容を実施することにより、参加者の増加を図る。民間事業者である、社会福祉協議会などと連携を図るための検討会の準備をすすめる。

令和 3年度に取り組んだこと	コロナ禍において、事業の中止が多く会員が退会しないように会の継続を図るため、会員への健康観察を行うなどで、会員の定着を行った。 また、現状では短時間の開催のため、事業内容に工夫がいるため、会員からの意見を取り入れるなど事業の充実を図った。

成果	介護認定により、退会する会員もいたが、コミュニティサロンを楽しみにしている方が多く、コロナ禍において事業中止になっても、退会をせず引き続き会員のままの方が多く見受けられた。
課題	コロナ禍における短時間対応についても、会員や会員の家族の方には、通常の１日に渡る事業と比較してもの足りない面もあるので、１日通しての事業の再開準備を進める必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	コロナ禍における事業中止もあったが、会員の健康維持に貢献するなど、通常の体制に戻るまでさまざまな工夫による事業継続を図った。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		コロナウイルス感染状況を把握しつつ、通常体制（１日）への切り替えがスムーズに行うことができるように準備をすすめる。また新たな会員獲得を民生委員・包括支援センターなど関係者と協力してすすめる。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		会員の意見や地域の関係者から情報を得て、新たな健康増進などのプログラムを開発することで、短時間でも対応できるような、効率的なコミュニティサロン事業を行う。また、コミュニティサロンスケジュールが１日になるように６館で調整を図る。			

【アウトプット指標】

指標名	延べ参加人数（コミュニティサロン1年間の延べ参加者数）				単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	4,700.00	4,308.00	4,700.00	638.00	4,700.00	1,214.00	4,700.00

【アウトカム指標】

指標名	コミュニティサロンへの１回当たりの参加率				単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	83.00	86.10	88.00	43.30	88.00	38.80	88.00
式	コミュニティサロン1年間の延べ参加者数/コミュニティサロンの延べ登録者数×100						
指標の狙い	コミュニティサロンは高齢者の介護予防のため、要介護認定されていない方を対象としており、対象者が参加しやすい環境を整え継続して事業を行うことを目的とする。						